

# Pythonファイルの作成

このレッスンでは、パソコン上に挨拶の「Good morning（おはよう）」「Good afternoon（こんにちは）」「Good evening（こんばんは）」と表示させるプログラムを記述・実行してみましょう

まず、VScodeを起動します。

これがファイル管理のための「エクスプローラ」です。クリックします。

「フォルダを開く」をクリック

デスクトップに「MyPython」というフォルダを作りましょう。

選択して開く。

MyPythonのフォルダが選択されています。Pythonファイルを作ってみましょう。

英語で挨拶は、Greetingといいます。ファイル名を「Greeting.py」とします。

これでPythonファイルの作成はおわりです。

このレッスンでは、Pythonのプログラムの書き方や、実行のやり方を把握してもらっただけでよいです。

プログラムの意味については、あとに続くレッスンで説明するので、今はプログラムの意味は、「ルール」や「きまり」だと思って進めてください。

こうやって書くんだーって程度でよいです。

早速、コンピューターに挨拶を表示させるコードを書いていきましょう。

```
print("Good morning")
```

```
print("Good afternoon")
```

```
print("Good evening")
```

## 実行

プリント、カッコ、ダブルクォーテーション、グッドモーニングです。これで終わりです。

printがコンピュータに文字列や数値を表示させる関数です。丸括弧の中に表示させたい文字列などを記述します。数値を表示させるときは、ダブルクォーテーションはいりませんが、文字列を表示させるときはダブルクォーテーションがいります。

続けて、「Good afternoon」「Good evening」も順に書いていきましょう。

これでファイルを保存します。

保存方法は、ファイル→保存です。

保存ができると、この白丸が消えて×になります。

保存してみましょう。×になりました。

ちなみに、保存は、ショートカットでコマンドとSでも保存できます。

ファイルを実行して、文字列を表示させてみましょう。

ターミナルから実行します。

ターミナルを表示させるには、表示→ターミナルです。

実行方法は、pythonと書いて、pythonのファイル名です。  
まずpythonと書きます。ファイル名は、Greeting.pyなので、これを記述します。

エンターで実行です。

すると、ターミナルに「Good morning」「Good afternoon」「Good evening」という順番に表示されました。

では、順次進行されるのか順番に入れ替えてみましょう。

```
print("""Good evening""");
```

```
print("""Good afternoon""");
```

```
print("""Good morning""");
```

保存しましょう。コマンドとSで保存してみます。保存できました。

実行してみましょう。

上からの順番に「Good evening」「Good afternoon」

「Good morning」となっています。

先ほどとは違う実行方法でやります。

プログラムを記述する箇所で右クリック。

「ターミナルでPythonファイルを実行」をクリック

上からの順番通り「Good evening」「Good afternoon」

「Good morning」と表示されました。

順次進行されています。